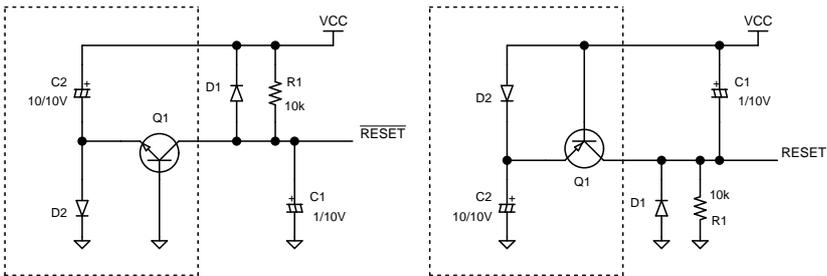


B 0 0 1 . 減電圧によるリセット回路



C 2 10・C 1 とする。

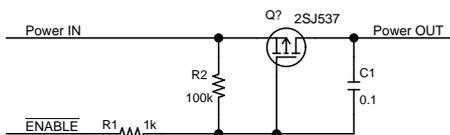
一般的なCRリセット回路では左記点線部がないため、電源電圧が十分下がらないとC1の放電が十分行われず、オーディオ・パワー・アンプのように大容量の電源コンデンサを持つセットでは、C1が十分放電されないうちに再度電源投入されてしまいリセットがかからないトラブルが出現する。

左記の回路であれば、電源電圧が0.7V程度低下したところでQ1がオンしてC1を放電するため、確実にリセットがかかる。

0.7V低下ではなく、もっと下の電圧でリセットを掛けたい場合は、Q1のベースにダイオードを追加すればよい。

なお、電源電圧監視機能のあるマイコンでは、外部でこのような処置をする必要は無い。

B 0 0 2 . 局所電源スイッチ（突入防止）



ポイントは、C1をドレインに接続していることである。ドレイン側からのフィードバック効果により、緩やかにオンする。単純にゲート側波形をなまらせる回路では閾値付近で急激にオンするため、突入電流によりPower IN側の電圧が急減しトラブルを起こす。

TITLE		DRAWING_No.	
トランジスタ応用回路 1		2018.10.14 (二版) B002 局所電源スイッチ(突入防止)追加	
SHEET	DATE	DESIGN	
1 / 1	2011.04.17 (新規)	てきーらサンドム	